

明海大学 不動産学部

## 不動産の不思議

第21回

学生たちの視点と発見

### 【学生の目】

日本の墓地は一般に小高い山裾につくることが多い。街が眺望できる高所につくるとはかつて暮らし、なお親族が暮らし街を見守るとの意図もあるだろう。一方、

寺院に付設された墓地にはいかに墓地と思

わせる伝統的な作法がある。いずれも墓地は日常生活と隔離された特別の場所に特別の方法でつくられた施設だ。利用のルールも見えにくく、親近感皆無だ。

地域の4分の3が埋立地の浦安市は平たんで、墓地に適した小高い斜



林 邦人  
不動産学部4年

## 総合・政策

面はなく、埋立地にはお寺の1つもない。その新浦安地区に墓地があることを知った。ウオーターフロントにつくられた浦安市墓地公園だ。大学の通学路として使うシンボルロードをまっすぐ進むと東京湾にぶつかるが、その海沿いにある。

お墓は御影石を縦に積み重ねた細長い形状が一般的だが、ここは芝生が緑のじゅうたんのように広がる中に、低めの墓石がゆったりと並ぶ

### 埋立地の墓地公園

## 宗教色と無縁の安心施設

【写真】。明るく開放的で静かな散策もできる。展望広場は東京湾を一望できるビューポイントとして市民の憩いのスペースになっている。ここでも眺望は墓地の要素である。

申し込み資格は①市に3年以上居住し住民基本台帳等がある、②埋葬していない遺骨を持っている、③遺骨の配偶者、血族3親等以内、姻族2親等以内、養子または養女、養父

または養母であること。使用期間は30年間で更新もできる。

市役所に確認すると「みどり公園課」が管理している。まさに「公園」として「墓地」をつくり、管理している。浦安市の人口16万2426人、世帯数7万3078世帯(13年10月末日)に対して13万3000㎡の墓地公園には、1基当たり3㎡の墓所1万4000基が設置可能である。5世帯に1世帯程度の利用が見込まれている。

地価が高い埋立地に宗教色の

濃い寺院を新たに設けることも、民

営の墓地を開設することも現実的ではない。埋め立て後に転入した市民には墓地を持たない家族も多く、市営墓地は大きな安心である。一方で、

高齢社会を迎え、必要な施設をすべて公営で賄うことはできない。民間つまり市場でつくり、持続させることが有効な局面が増えるだろう。市場原理を活用するには権利(法律)、



東京湾沿いにある浦安市営墓地

空間(都市・建築)、対価(経済)を併せて考量する必要があり、そのための企画力を蓄えたい。

### 【教員のコメント】

墓地は土着の宗教と密接に関係し、文化の一部となる。公的資金を投入して埋め立てた地区では、宗教色と無縁の街づくりをせざるを得ないが、墓地需要は発生する。宗教色を排除した解決策を若い感性は評価する一方、不動産学を用いた街づくりの展開可能性も併せて察知している。